母の恋と娘の恋が紡ぎ出す温かな「奇跡」の物語―。

映画『眉山 -びざん-』のあらすじ

東京で旅行代理店に勤める咲子（松嶋菜々子）は、故郷の徳島で一人暮らす母・龍子（宮本信子）が入院したと聞いて、久しぶりに帰郷した。相変わらず気丈な母であったが、担当医よりその母が末期ガンだと知らされた咲子は愕然とする。相談もなく自分一人で物事を決めてしまう身勝手な母、父のことを決して語らない母に、寂しさとわだかまりを抱えてきた咲子。そんな咲子は母を看病する中で、医師・寺澤（大沢たかお）と出会う。母という人間を受け入れられずに悩む咲子を寺澤は温かく包んでいく。そんな寺澤に、咲子も自然と惹かれていくのであった。残された時間の中で咲子は、寺澤に背中を押されるように、今まで知ることのなかった母の人生を知っていく。会ったことのない父のこと、母と父の切なく苦しい恋を―。やがて、母の死期が近いと悟った咲子は、母と父の果たせなかったある願いを叶えるために、母を熱狂の阿波おどりへ連れ出すことに―。

©2007「眉山」製作委員会

出演　松嶋菜々子・大沢たかお・宮本信子
監督　犬童一心　原作　さだまさし（「眉山」幻冬社文庫）

●お問い合わせ
徳島市・映画「眉山」支援委員会（徳島市観光課）
徳島市幸町2丁目5番地　TEL.088-621-5232

2007年5月12日 全国東宝系にてロードショー

映画『眉山 -びざん-』 トピックス

空前の大規模ロケが徳島の街で!!

1. のべ17,016人のエキストラが参加!

映画『眉山』の徳島ロケは、2006年8月12日の阿波おどり本番の実景撮影から9月25日までの約1カ月半にわたって行われました。その間、徳島市内のさまざまな場所で繰り広げられた撮影には、のべ17,016人のエキストラに加え、数多くの市民ボランティアや撮影場所での協力者などを含めると、同映画ロケに関わった人は30,000人以上と推定されており、徳島の街全体が応援団となって映画『眉山』ロケを支えました。

2. 演舞場で本物の阿波おどりを再現!

南内町演舞場で大がかりな撮影が行われた

母と娘、娘を支える青年医師が織りなす感情の物語の背景として、クライマックスシーンでは、演舞場での阿波おどりを再現して撮影が行われました。大胆にも、演舞場での総踊りをそのまま再現したのは、徳島市にとっても初めてのことで、映画の見どころになっています。阿波おどり振興協会、徳島県阿波踊り協会に所属の33連による総踊りなどは、本番でも味わうことができない場面です。

阿波おどり以外のシーンでも、徳島市内を中心に、県内のさまざまな場所での撮影が、日夜を問わず繰り広げられました。すべての撮影において、本物志向で挑んだ映画『眉山』は、徳島の魅力が満載された映画で、応援した多くの市民・県民の熱い思いに包まれた徳島だからこそできた映画といえます。

3. エキストラの参加記念品は徳島ならでは!

撮影に協力していただいたエキストラのみなさんに配られた記念品は、徳島ならではの阿波おどり手ぬぐい。のべ17,016人のエキストラの参加数からしても、どれだけの手ぬぐいが作られたのか想像ができます。前面に大きく「眉山」の文字。阿波おどりと眉山の山がデザインされ「どこで、手に入るの?」…ロケ期間中は大人気でした。映画『眉山』に参加した証、そして思い出…。今となっては、貴重な記念品です。

エキストラのみなさんに配られた手ぬぐい

4. 主な撮影スポットに記念プレートを設置!

映画『眉山』の徳島ロケは、街中が舞台となり、いろいろなところで撮影が行われましたが、主な撮影地点に記念プレートが設置されています。縦20センチ、横35センチのステンレス製。眉山山頂の展望台や新町川水際公園、南内町演舞場など、県内に12カ所設置されているのでマップ片手に各所を巡って記念写真をバッチリ撮ってみてください。

眉山山頂の記念プレート

徳島ロケこぼれ話 おもしろ

歓楽街にある実際のお店で撮影!!

映画『眉山』では、眉山の経営する飲み屋「甚平」や龍子の店「おりゅう」が重要な役割を果たしています。撮影には、鷹匠町や栄町の歓楽街がそのままセットとして使われました。もちろん、映画用に店舗の外観や内装にも手が加えられ、ネオンも点灯、細部にわたり美術装飾が施され「ヨーイ…スタート！」。近隣の店舗をキャストの控え室にするなど、徳島ロケの撮影はストリート全体の協力体制のもと行われたのです！

各所で大がかりな撮影が行われた!!

徳島ロケでは、公園や公共施設、病院などのほか、中洲町の「ザ・パシフィック ハーバー」や沖浜東の「潤水苑」、中洲市場、佐古一番町の民家でも撮影が行われました。もちろん、それぞれの場所では多くのエキストラが活躍。スクリーンの中のキャストが迫真の演技で迫ってくるよ！一方、撮影した已もカカわらずオミットになってしまったシーンもいくつかあるとか。うーん、残念…。そのシーンを見てみたーい！

ここにも架空の名称が…

劇中では、架空の名称がつけられたものがいくつか登場します。例えば、佐古新橋近くの船場橋は、何ともロマンチックな「夢幸橋」として、33年前の徳島にタイムスリップ。徳島市立大学病院も出現。慰霊祭の会場では「夢草会」。それから、回想シーンの思い出写真などに登場する「眉山の滝」は、何と吉野川市の水神の滝が使われているんです。ロケ地を散策するときには、実際の名称と比較するのも楽しいよ！

夜と雨のシーンの多かった徳島ロケ

徳島ロケは、夜のシーンと雨のシーンが多かったのも特徴。まず、阿波おどりは現代シーンも回想シーンも夜。歓楽街を歩くシーンも夜。水際公園を歩くシーンも夜。スクリーンは夜、夜、夜のオンパレード。さらに、歓楽街や走るバスの外観に雨降らし。撮影機材も小道具も半端じゃない！ 逆に、晴れのシーンの撮影日に、にわか雨が降ったことも。道路に水たまりが残らないように、スタッフみんなで行った雑巾がけはお見事！ 撮影日程だって半端じゃない。夕方から翌日の明け方までの撮影なんて、徳島ロケでは当たり前。エキストラのみなさんも疲れた顔を見せずに（？）頑張ってくれました。きっと、このパワフルさは、スクリーンの中でも感じられるでしょう！

▲歓楽街での雨降らし

▲にわか雨で雑巾がけ

MEMO：キャストやスタッフのみなさんに一番活用されたお店は、どこだと思いますか？ それは街に点在するコンビニエンスストア。急いだときの買い物には便利ですよね。食べ物で好評だったのは、阿波尾鶏の焼き鳥に徳島ラーメン。番外でちゃんこ鍋も人気があったようです。ロケ地を巡るときには、地元のお店にも立ち寄ってみると、徳島ロケのホットな情報が得られるかも…。

眉山（びざん）
徳島ロケマップ

スクリーンに登場する
徳島の街を散策しよう!!

徳島市・映画『眉山』支援委員会

view point 1　33年前にタイムスリップ!　06/8/28-30撮影

夢幸橋［船場橋］徳島市佐古一番町

34歳の龍子が咲子の父・孝次郎を待つ回想シーン。同じ場所で、咲子が父の姿を探す現在のシーンなどが撮影されました。

view point 2　1986年の阿波おどりの夜を再現!　06/8/23撮影

幸町公園 徳島市幸町2丁目

1986年の夜にタイムスリップ。龍子と14歳の咲子が阿波おどりを踊る回想シーンが撮影されました。

view point 3　ロマンチックな夜を演出!　06/8/27・9/8撮影

新町川水際公園周辺

雨上がりの水際公園を、咲子と寺澤が歩くロマンチックなシーンや、咲子が阿波おどりの途中で演舞場を抜け出し、父を探しに出るシーンが撮影されました。

view point 4　大迫力のクライマックスシーンを撮影!　06/8/16-21撮影

南内町演舞場［徳島こども交通公園］徳島市南内町1丁目

劇中の最大のクライマックスシーンである阿波おどり総踊りの様子を、本番同様に再現。5日間にわたっての撮影が行われました。

view point 5　歓楽街がそのままロケセットに!　06/9/3・9/10撮影

鷹匠町・栄町周辺

実際の店を使って、劇中の飲み屋「甚平」や龍子の店「おりゅう」を再現。「甚平」では咲子と啓子、「おりゅう」では回想シーンの撮影が行われました。

view point 6　演舞場に向かう道!　06/8/26撮影

富田中央公園周辺［徳島市秋田町1丁目・2丁目］

通りには80メートルのカメラレールが敷かれ、咲子や龍子らが阿波おどり見物のために演舞場へ向かうシーンが撮影されました。

view point 7　山頂から二人が徳島市街を眺める!　06/9/1-2撮影

眉山山頂

眉山山頂で、咲子が寺澤に龍子のことを相談するシーンの撮影が行われました。ロープウェイで山頂に向かうシーンも見どころです。

view point 8　雨降らしの大規模撮影!　06/9/9撮影

アスティとくしま周辺 徳島市山城町 東員橋示

龍子を見舞った病院の帰りにバスに乗る咲子。雨が降る中、走り去る市バス。そして車内。夜間照明を灯しての大がかりな撮影が行われました。

view point 9　慰霊祭会場入口のシーン　06/9/5・9/25撮影

夢草会［徳島県立文書館］徳島市八万町向寺山

文化の森総合公園内にある徳島県立文書館は、徳島市立大学病院「夢草会慰霊祭」会場の玄関部分として撮影されました。

view point 10　母娘が人形浄瑠璃を鑑賞!　06/8/25撮影

阿波十郎兵衛屋敷 徳島市川内町宮島本浦

人形浄瑠璃「傾城阿波鳴門」の上演を、咲子と龍子が客席で見るシーンの撮影が行われました。「ととさんの名は阿波の十郎兵衛…」。

view point 11　咲子が帰郷、上京するシーン　06/8/28撮影

徳島空港 板野郡松茂町満穂

咲子が母の病気を気遣い徳島へ帰ってくるシーンや、東京へ出発するシーンの撮影が行われました。

view point 12　父との思い出のシーン　06/8/24・9/5撮影

眉山の滝［水神の滝］吉野川市川島町山田

吉野川市の水神の滝で、1971年の回想や1976年の咲子が4歳のときに親子の写真を撮影するシーンなどが撮られました。

徳島ロケは街のいたるところで行われたよ!!

まだまだある!!

阿波おどり開幕を前にした街中のシーン

阿波おどりは、映画『眉山』の中でもう一つの主役。そのため、開幕を前に盛り上がっていく街の様子が、丁寧に撮影されました。

興源寺［徳島市下助任町］

奉納阿波おどり

西新町周辺［徳島市西新町］

三味線波しを再現して撮影

両国橋［徳島市南内町］

演舞場に入る観客エキストラ

そごう徳島店前［徳島市元町］

阿波おどりのニュース撮影の場面

徳島市立大学病院のシーン

徳島ロケでは、咲子の母・龍子が入院する病院でのシーンが数多く撮影されました。病室、カンファレンス室、玄関、待合いロビー、中庭などの場面は、県内のさまざまな施設が使用され、大勢のエキストラが参加しました。

県自治研修センター［徳島市庄町］

徳島市立大学病院の中庭として

徳島大学病院［徳島市蔵本町］

病院の玄関、ロビー

徳島大学大塚講堂［徳島市蔵本町］

慰霊祭会場のシーン

鳴門教育大学［鳴門市鳴門町］

病院の中庭、図書室の場面を撮影

旧徳島赤十字病院［小松島市中田町］

病院内部のシーンを撮影